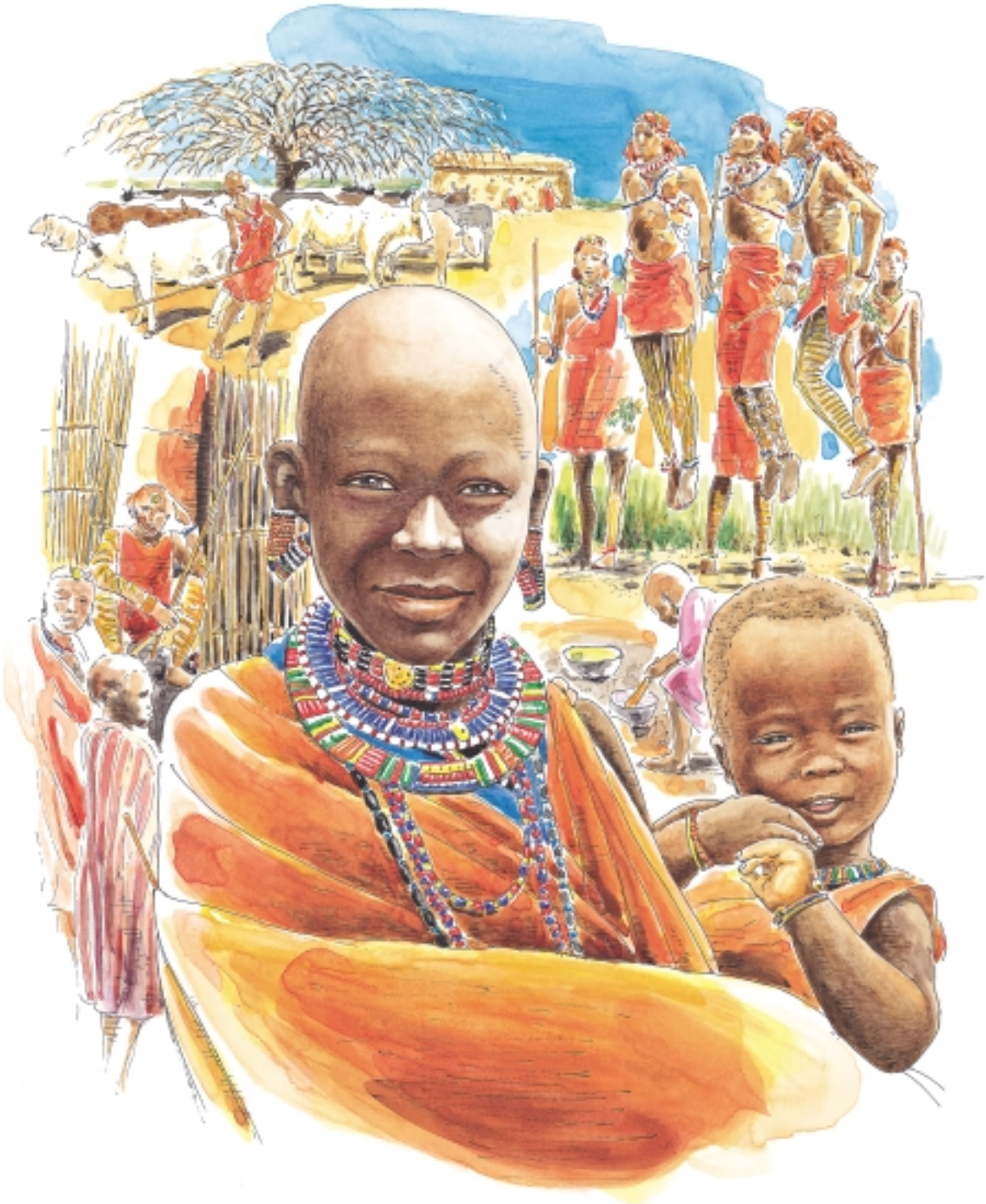
SOWER

ソア＝種まく人
No.20
May 2002
財団法人
日本聖書協会

特集 インターネットと聖書



新聖書の世界 19

写真／文 横山匡

シャローム！

「こんにちは！」「さようなら！」挨拶の言葉は「シャローム！」の一言で事足りてしまう。アラビア語では「サラーム」。エルサレムの一角で見かけた三ヶ国語で書かれたこの文字は「平安」を表す言葉でした。

シャロームとは、政治的な意味での「平和」ではなく、神様の愛が満ち満ちた状況を現すそうです。イエスはエルサレムのために泣いて言われました。「もしこの日に、お前も平和への道をわきまえていたなら…」と。

歴史を導きたもう神様のシャロームがイスラエル、パレスチナの全地に満ち渡りますよう祈るばかりです。

エルサレムの平和を求めよう。
「あなたを愛する人々に平安があるように。
あなたの城壁のうちに平和があるように。
あなたの城郭のうちに平安があるように。」

詩編一二二編六、七節

The World of the Bible "Shalom!" / Photo & Essay by Yokoyama Tadashi

巻頭聖句

わたしが来たのは、羊がいのちを受けるため、しかも豊かに受けるためである。

（ヨハネによる福音書10章10節）

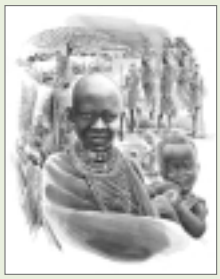
キリスト者は、神によって創られ、キリストの血によって贖われた（ペトロの手紙Ⅰ 1章19節）
人間のいのちを、神のいのちにあずかる尊いいのちであると信じています。
世界における宗教、思想、政治、経済、科学技術などの大きな変動の中で、人間のいのちは翻弄されております。
21世紀こそは愛と和解、平和な世界の到来をとの願いも2001年には叶えられませんでした。
キリスト者はさまざまな形で脅かされているいのちに奉仕し、いのちのために働くことを求められています。
「キリスト者は『主であり、いのちの与え主である』聖霊の恵みによって内的に新たにされて、
いのちのために働く民となったのであり、これにふさわしい者として行動するように
招かれています」（ヨハネ・パウロ二世「いのちの福音79」1995）。

野村純一
日本カトリック司教協議会会長

CONTENTS

Sower
No.20
2002

2 特集 インターネットと聖書
インタビュー インターネット伝道最前線 能城一郎
6 JBS情報 日韓ワールドカップ情報
プロモーションビデオ紹介
Eメール 渡部 信
8 第5回バイブルフレンズの集い 聖書が生み出す世界平和
11 教会の幅広いご協力をもとめて
12 人物と聖書 鈴木範久 石井亮一と聖書
14 新時代のニーズに合わせた聖書製作をめざします！
16 2002年聖書普及講演会のお知らせ
17 聖書図書館蔵書シリーズ——⑱ 『グーテンベルク四十二行聖書』



表紙の言葉
ケニア共和国のマサイ族は遊牧民族です。自分たちの生活のすべてを支えてくれるウシを襲う者にはライオンであろうが、槍一本で立ち向かう勇敢な民族として知られています。
踊りは狩りや戦いに出るときの儀式です。
（月本佳代美）

Bible Verse & Essay by Nomura Junichi

特集

インターネットと聖書

聖書普及の新たな可能性

今日、飛躍的な発展を続けるIT（Information Technology＝情報通信技術）。殊にIT革命の大きな柱であるインターネットの発展は目覚ましく、国や社会の活動だけでなく、人々の生活レベルにまでさまざまな変化をもたらしてきています。この急速な変化の波により、聖書普及やキリスト教伝道は、かつてない新たなチャレンジを受けています。（編集部）

IT革命と進化するインターネット

IT革命はインターネットという巨大なコンピュータ・ネットワークを駆使し、18世紀の産業革命を上回るほどの勢いで世界各国の政治・経済はじめ、あらゆる分野に歴史的な大変革をもたらしており、近代文明を築き上げる発想となった人間観、社会観、科学観を覆すとさえいわれています。

こうした状況の下、日本では、より高速なインターネット接続方式として、ADSLや光ファイバーなどのブロードバンド・ネットワークの整備・拡張が進められ、超高速接続を可能にする光ファイバーも来年あたりから本格化するといわれています。

み言葉を伝えるための新たな取り組み

ブロードバンドが一般化すれば、インターネットの世界はさらに広がります。身近な生活環境や個人のライフスタイルはより大きく多様に変化していき、これまでとは異なる新しい考え方や価値観を持つ人々が生まれてくることでしょう。

人間の本質的な部分にまで深く影響を及ぼすこの大きな変動の中で、聖書普及やキリスト教伝道に期待される働きも、より増大するものと思われます。こうした背景を踏まえて、この分野でインターネットを活用したさまざまな取り組みが始まっています。

例えば、キリスト教伝道の領域では、インターネットを介した教育「E-learning（イー・ラーニング）」に着目し、新しい伝道の方法を探る動きも出ています。また、日本聖書協会では、インターネットを介した新しい聖書頒布を始めています。

インターネットを活用した聖書普及

■待望のデータ聖書『JNet-ばいぶる』

ブロードバンド時代に対応した聖書頒布方法としてスタートした『JNet-ばいぶる新共同訳聖書Win版』は、インターネット上から新共同訳全本文をダウンロードできるデータ聖書です。

『JNet-ばいぶる』のホームページ（トップ画面）

『日本聖書協会』のホームページ（トップ画面）

聖書本文検索の画面

聖書テキストだけでなく、語句解説、図版資料、四福音書比較、聖書個所検索の機能を搭載。利用方法は、同サイトに接続しソフトをダウンロードしてインストールするだけと簡単です。また継続利用をご希望の場合は、サポートセンターへメールを送るとパスワードを取得でき、それ以後は機能部分のバージョンアップも無料になります。

日本聖書協会では、日本のＩＴ化政策が完了する２０１１年までに、国内全３０００万世帯へ『ＪＮｅｔ-バイブル』を広めたいと考えており、お求めやすさを考慮して、価格を１０００円（消費税別／インターネット決済）と大変廉価に提供しています。ネット初心者用としてＣＤ-ＲＯＭ版（２０００円／消費税別）もご用意しています。

●お求め・お問い合わせは同サイトへ。

http://www.jbible.net

■聖書本文を公開『ＪＢＳホームページ』

日本聖書協会のホームページでは、新共同訳と口語訳聖書の全本文を公開。１回20節ごとにどこでも見られるようになっています。

検索も可能で、トップページの検索欄で書名を選び、章と節を入力する方法と、新共同訳と口語訳の選択やキーワードを含めて詳細に検索できる方法とがあり、聖句を表示したページでは、新共同訳と口語訳の切り替えもできます。また、旧約聖書における新共同訳の底本の章・節と、口語訳の章・節とが相違している個所ごとに、新共同訳の範囲とそれに対応する口語訳の範囲を示した旧約聖書の章・節対照表もあります。

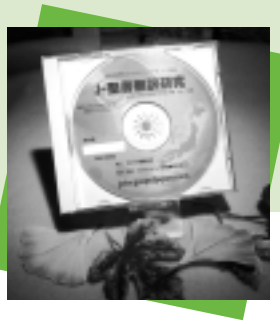
インターネット上での聖書本文の公開は日本初のことで、より多くの人々が自由に聖書に触れていただくことを願っています。

●日本聖書協会ホームページ

http://www.bible.or.jp

■ニーズを考慮したアイテムも

このほかに、それぞれのニーズへの対応を考えた頒布もしています。



『J-聖書翻訳研究』

新共同訳の原語コンコルダンス・データベース（動詞・名詞13万単語）を搭載したCD-ROM。従来の聖書コンコルダンスと異なり、日本語から原語を検索するのではなく、原語から新共同訳聖書の用語を探し出すことができます。

●お求めは日本コンピュータ聖書研究会へ

http://jcbr.gospeljapan.com/

『ラピュータ』

み言葉がいつでもどこでも読める世界最小の腕時計型コンピュータ。ソフトをインストールすることで、さまざまな機能を自由に搭載できます。

●お問い合わせは日本聖書協会総務部広報係へ

Eメール・info@bible.or.jp

Q1 日常生活の中で、み言葉を伝えるうえでの『JNet-ばいぶる』の意義は？

A 『JNet-ばいぶる』の利点は、インターネットにつながった電話機はじめ、冷蔵庫や電気釜、電子レンジなどのIT家電の液晶盤（モニター）から、いつでも聖句を見ることができることです。すでにパソコンを搭載した腕時計もあり、最終的には携帯電話でも聖書が読めるようになりますので、いつでもどこでも聖書を読んだり、キリスト教のあらゆる情報が見られる世界ができるわけです。

来年は光ファイバーの整備も加速的に進むので、今後、各家庭のインターネット環境はより高速でスムーズになるはずですし、IT家電もどんどん普及することが見込まれます。こうした流れを踏まえて、常に身近に聖書のみ言葉を伝えられる『JNet-ばいぶる』は、今後の聖書普及や伝道活動に大きな影響を及ぼすに違いありません。

Q2 『J-聖書翻訳研究』を活用した聖書翻訳作業の利点や意義は？

A 例えば、新しい聖書翻訳の事業を始めたとき、今までなら10年かかったものが『J-聖書翻訳研究』を使うと約1カ月ぐらいでできる。この点がいちばんの利点だと思います。翻訳者の方々は、『J-聖書翻訳研究』に載っている聖書の言語に関する客観的なデータを基に、ネット上で意見交換や話し合いを行えば、ひとつ場所に集まっての会議も必要なくなり、よりスムーズに翻訳作業を進められます。また、これからの時代はITを利用した国際コミュニケーションが進み、新しい人間観や自然観、世界観を持った人たちが、生まれてくると思われます。『J-聖書翻訳研究』は、そうした人たちにも読みやすい、新時代に対応した聖書翻訳をするための道具と考えていただければと思います。

Q3 ネット上での学習方法である「E-learning（イー・ラーニング）」を活用した伝道の可能性は？

A 私は「E-learning（イー・ラーニング）」のことを、キリスト教においては『E-mission（イー・ミッション）』と呼んでいます。なぜなら、聖書普及活動やキリスト教伝道は、神様から与えられたミッションだと思っているからです。『E-mission』を使っていけば、キリストがいわれた「全世界へくまなく福音を宣べ伝えていく」ことの可能性がまたひとつ広げられるのではと思っています。例えば、今まで30人ほどの生徒数だった学習塾が「E-

インタビュー

インターネット伝道最前線

能城一郎（のしろ いちろう）
日本コンピュータ聖書研究会代表
単立 暁キリスト教会牧師

今日、そして将来の日本のキリスト教伝道にITが及ぼす影響とは？　日本のキリスト教界におけるインターネット研究の第一人者であり、『JNet-ばいぶる』『J-聖書翻訳研究』の開発にご尽力いただいた能城一郎先生に、一問一答で伺いました。

Q4 IT化が人間関係に及ぼす影響の是非は？

A IT化が進んでいくと、今までにない、よい人間関係が生み出せるのではないかと私は思っています。ネット上、要するにITの上で、正しい情報を自分でキャッチし、正しい情報を相手に送れるようにトレーニングした人は、客観的なものの見方や考え方ができるようになるはずです。こういう人たちは実際に人と会ったときにも相手の立場や考えを冷静に受け止めることができるので、総じて人間性がすごくいいということになり、必然的に人間関係もよくなるわけです。特に先ほどお話した「E-learning」を通じて、まず基本的な人間性ができた人たちが、直接的な人と人との交流の場へ行くと、お互いにさらにいい人間性が生み出されるとも考えています。人と人が直接触れ合う機会がなくなってしまうことによる悪影響を危惧される向きもありますが、世界中がIT革命、そして「E-learning」へと進んでいる今、この流れを止めることはできません。ですから、私はやるだけやってみて、子どもたち、あるいはキリスト教の宣教に悪影響が出そうになった時点で、善後策を考えればいいと思っています。

Q5 今の教会に期待されるIT活用法は？

A ITを使ったキリスト教伝道を考えていくうえでの、私のいちばんのキーワード、それは「ビジョンを持つ」ということです。イエス・キリストは諸々の弟子たちに「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」と言われている。この大きなビジョンによってキリスト教は全世界に広まってきたわけです。

IT分野を活用した聖書普及活動やキリスト教伝道においても、成功するためにはやはり、キリストが与えられたビジョンとまったく同じものを持って「E-mission」に立ち向かい、全世界の人たちに福音を宣べ伝えるということによって、その一翼を担っていけると思うのです。もっとも日本のインターネット元年は1996年、ようやく6年目を迎えたに過ぎないということからすれば、ITを使ったキリスト教の布教は、まだまだ実験段階だとも言えます。しかし、いずれにしても、大きなビジョンを持ち、物事を幅広く考え、複眼的な発想を持って取り組まなければ、これからの新しい時代を切り開いてはいけないと思います。

牧師として伝道者として、ITあるいはインターネットに出会ったとき、私はこれは神様が教会に与えられた宣教の道具、神様からの賜物だと受け止めました。ですから、私は祈りながら、神様の知恵をいただいて、これを聖書普及活動や伝道など、あらゆるものに使っていこうと考えています。

日韓ワールドカップ情報

2002年FIFAワールドカップサッカーを記念して

日本聖書協会では特別な聖書の発行を企画しています。

無料頒布します！

2002年W杯限定版『ルカによる福音書』よろこびのおとずれ

10カ国語対照（日本語、韓国語、英語、イタリア語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語、ポルトガル語）。

プロサッカー選手4人の証し、開催都市情報、参加国、トーナメント表入り。

表紙

裏表紙

ファン・カルロス・バレロン選手

試合開催都市、会場などで限定無料頒布します。頒布活動に参加してみたいという方は、左記の「ゴール2002聖書プロジェクトチーム」までお問い合わせください。

東京都千代田区神田駿河台2-1
OCCビル405
TEL：03-3259-1026
FAX：03-3259-1027
Eメール：goal2002w@yahoo.co.jp

ここではスペイン最強のサッカーチーム、デポルティボ・ラ・コルナに所属する名選手ファン・カルロス・バレロンさんの証しの一部（同聖書収録）を紹介します。

「……、望んでいたことすべてを得たときに気づくことがあります。それはもし自分の心がそれで満たされなければ何の価値もないということです。人生で得られるどんなものでも幸せでないなら―神様によって心が満たされていなければ―意味がないのです。私はしばしば辛い体験をしましたが、そのようなとき、神様はいつも共にいてくださり私は幸せでした。人生の幸せをつかむにはスターになる必要はないのです。ただ神様が私と共にいてくだされば良いのです。」

2002年W杯記念版『韓日対照聖書』

日本語（新共同訳）聖書と韓国語（新改訂訳）聖書の対照

日韓合同開催を記念して、日本聖書協会と韓国聖書協会が共同製作しました。両国同価格で発売いたします。ご注文はお近くの書店まで。

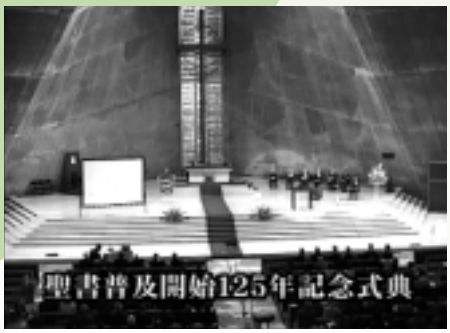
クロス装1500円（予価）
革装　2700円（予価）

両国同価格で発売！

プロモーションビデオ

『21世紀を翔る日本聖書協会』完成！

日本聖書協会125年の歴史、聖書協会世界連盟との関わり、海外への聖書贈呈の働き、最新の聖書製作・頒布情報が短い時間でビジュアルに理解できます。収録時間21分。ただいま各教会に1巻、無料進呈中です。お申し込みは総務部広報係までお願いします。



ただいま無料進呈中!

BS NEWS

Eメール

聖書翻訳に捧げられた生涯

渡部 信
わたべ まこと
日本聖書協会総主事

日本聖書協会は1986年中国に聖書印刷工場を建設しようと１億円募金を始め、他の国々の聖書協会と協力し、中国人の手によって南京に愛徳印刷所を建設いたしました。以来、毎年300万冊近くの聖書が中国本土の教会で頒布されるようになり、建設後14年たった現在では、総計で2,500万冊近くが頒布されたことになります。中国は推計7,000万人近くのクリスチャンがいるとされている今日、既にアジアでいちばん多いクリスチャン人口国であることは間違いなさそうです。

そもそも中国語の聖書は日本語聖書より半世紀前に翻訳され、日本語文語訳聖書の元本となりました。この初期の中国語聖書翻訳のために一生涯を捧げ、尽力した一人の宣教師にロバート・モリソン（1782～1834）という人がおります。最近、私は香港を訪れた際に、マカオに彼のお墓があると聞き、出かけてまいりました。マカオ市内にある「新教徒墓地」に彼と妻の墓が並んであり、その横に翻訳の仕事を手助けした次男のお墓、そして彼と妻のお墓の間に、幼くして世を去った長男の小さな墓が仲良く並んでありました。その使命のために犠牲を尽くして、異国の地、中国に骨を埋めた4人家族の生涯に大変感動いたしました。

このような聖書翻訳の働きを通して今日の中国語聖書が完成し、7,000万人に及ぶ中国の人々に福音を宣べ伝える礎ができたのです。

（写真は奥からモリソン、妻メアリー、父を助けた次男ジョンの墓。幼くして死んだ長男ジェームスの墓が右端に建っている。）

日本聖書協会主催　第5回バイブルフレンズの集い

聖書が生み出す世界平和

講演
衆議院議員
土肥隆一 氏

2001年10月26日(金)
午後6時～8時

東京・赤坂／ホテル
ニューオータニ

バイブルフレンズの集いは、日本聖書協会の働きについて、より多くの方々からのご理解とご支援を仰ぐことを主な目的とした講演と交わりの催しで、今回は150名に及ぶ方々にご参加いただきました。

土肥氏は、冒頭で、米国テロ勃発直前に訪問したパレスチナにおける緊迫した状況に触れた後、同氏が深い感銘を覚えるブルムハルト父子の生涯、特に子ブルムハルトの思想と生き方を語り、その中に今後の世界平和を築くうえで、キリスト教の担うべき重責を示唆されました。

今回の「21世紀と聖書」は同氏による講演の内容をご紹介します。

●講師プロフィール
土肥隆一（どい りゅういち）
1939年2月11日生まれ。
1967年東京神学大学大学院修士課程を修了。
現在、衆議院外務委員長、日韓キリスト教議員連盟会長、映画『親分はイエス様』を成功させる会会長、神戸ライフケアー協会理事。

◆講演要旨◆

今こそ和解の福音を

ニューヨークでテロが起きたとき、「とうとう来るべきものが来たな」と感じました。私は、テロが起きる3日前までパレスチナにいて、アラブ地区とイスラエル地区を往復しました。パレスチナでは、キリスト教徒、イスラム教徒、ユダヤ教徒の三者が喧嘩をしています。「私はユダヤ教徒だ」と言うとキリスト教徒とイスラム教徒が敵となり、「私はイスラム教徒だ」と言うとキリスト教徒とユダヤ教徒が敵になるわけで、どうにも逃げようがないのです。こうした状況をつぶさに見て、私は「平等に付き合わなければならない」ということを痛切に感じました。

イスラエル側の人は「日本的な宗教観を持つ人が仲介に入ってくれたほうがいいんじゃないか」と言います。宗教的にいい加減な国民に面倒をみてもらったほうがいいのではないかというわけですが、私はキリスト教の責任が非常に大きいと考えています。イスラム教やユダヤ教は、イエス・キリストのような仲介者を持たない唯一神教で、人々は神とダイレクトに結び付きます。しかし、それは一種の観念的な世界であり、「神がいいと言ったから、私はいいんだ」ということになる。やはりキリスト教がもう一度、和解の福音というものをしっかりと見据えなければならないのではないかと思います。

大事なのは「聖書的なリアリズム」

『子ブルームハルトの生涯と使信』という本があります。私はここから実に多くのことを学び、示唆を受けています。父親のヨハン・クリストフ・ブルムハルトは、ドイツのメットリンゲンという小さな村に療養所を兼ねた教会を建てた人で、このキリスト教的療養所は彼の働きによって、後に有名な場所になるわけです。

実は私も、26年前に兵庫県の和田山に福祉施設を建てました。そこには知的障害者と身体障害者、そして、お年寄りもいます。近くには、知的障害者と身体障害者9人と共に私と妻とで生活をしようと思い、「かしのき荘」という施設も造りました。また、私が牧師を務めている「和田山地の塩伝道所」は、要するに身体障害

世界平和について熱く語る土肥隆一氏

者の教会で、私たちはこの教会で「どうしてこんなに重い障害を持つ身になったのか」「この障害をどうしたらいいのか」といった問題に常に遭遇しています。私には癒す力はありませんが、み言葉は伝えなければなりません。障害者に対しては、私はわりと簡単に洗礼を授け、聖餐式もオープンにして、すべての人に聖餐がわたるようにします。「教義が理解できたか」「回心がどのように起こったのか」といったことは、あえて言えば、障害者にとってさしたる問題ではない。大事なのは「聖書的なリアリズム」というか、リアルにみ言葉が伝わるかどうかなのです。

主義を超えた平和への祈り

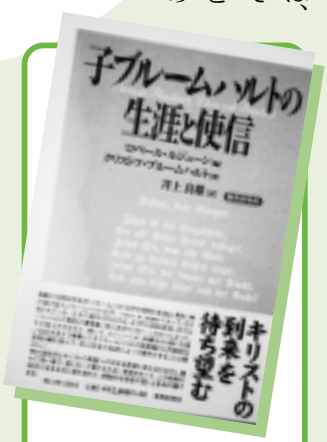
クリストフ・フリードリッヒ・ブルムハルトは、先に述べたブルムハルトの息子です。彼は父親の姿を見ながら信仰を育み、神学校に通いますが、父親と共に過ごした16年のリアルな信仰生活を知る彼は、やがて神学そのものに違和感を持ち、最後には神学研究に何の喜びも見いだせなくなりながらも、学校を出て、父親の仕事を引き継ぎました。しかし、伝道旅行などを通して広い世界を見るにつれ、彼の中に変化が起こり、父親の仕事を批判するようになります。あらゆる苦しみの人を受け入れ、祈り、集会をもつ姿に疑問を抱くようになったのです。

このころ、ドイツには社民党が出来つつあり、子ブルムハルトは、特にドイツ社会民主主義に接近します。「世に出でよ」というのは彼の重要なキーワードなのですが、教会の批判から、やがて社会への深い眼差しを抱くようになっていったわけです。

ちなみに、現在のヨーロッパでは15カ国中、11か12カ国が社民党ですが、イギリスの労働党も社民主義ですし、ドイツも社民党政権です。実は私も社民主義者で、政治家としての軸足をこのヨーロッパ型の社会民主主義においています。この辺も、ブルムハルトに親近感をもつ大きな理由のひとつです。

さて、第1次大戦のきな臭いにおいがし始めたころ、彼は「このような時代を創られたのはやはり神だ」と言い、「ひとつの神奉仕」として、労働者や社民主義者たちを擁護しました。ほどなく、彼は社民党の州議員に選ばれますが、世俗的であると言われ「父親を見習え」と非難されます。しかし、彼は確固とした社会民主主義者になり、「非教会的な人々、神なき人々が、義と平和と人間性と友愛の新しい世界のために努力しているのに、教会や宗教が金と権力と不正と困窮のこの古い世界を是認し、擁護しているのであれば、キリストはこの教会の敬虔な者たちを追い払って、神なき者たちを天国に伴われる」とまで発言したのです。

ところが、彼は突然のように政界から身を引きます。神の国を信じ、その国のために議員を務めていたとき、ブルムハルトはそれを自らに与えられた特別な委託と考えましたが、現実の



『子ブルームハルトの生涯と使信』
新教出版社発行
本体2,600円＋税

講演に聴き入る参加者

議会は、その神の委託を展開しうる場所ではなかったのです。政治活動に苦痛を感じるようになった彼は社民党を離脱し、6年間の議員の生活を辞めます。しかし、決して社会に対する関心を失ったわけではなく、死のときまで社会民主党との関係を維持していました。社会民主主義に対して、彼は「これが純粋な神奉仕だ」と言い、「彼らが人間を幸せにしようという、その心意気は神の意志だ」と言っています。彼は社会主義に幻想を持ったのではなく、自分の信仰によって社会全体を見つめ、社会主義とキリスト教とを並列的に見つめていたのでしょう。これはすごいことだと思います。

第1次大戦が始まり、ドイツは悲惨な状況になっていきますが、そのさなかにも「地上にどれほどの不幸が起ころうとも、疑惑に陥らぬようにしてください。あなた(神)の支配は永遠に強大であり続けます。そして遂にあなた(神)が、その栄光の中にご自身を示される日を私どもは待ち望んでいるのです」と祈りました。これがブルムハルトの捧げた祈りだったのです。

キリスト教の果たすべき役割

イスラム教は、最も活発な世界宗教のひとつで、信者は全世界に散らばっています。ほとんどの人々は穏健派ですから、彼らは現在の状況に、心を痛めているに違いありません。そして、このことは絶対に見過ごしてはならないことです。

あのテロの前日、ビン・ラディンが残したとされる手紙には「これから行うことは預言者の戦いであることを忘れないでもらいたい。『神の名の下、もっとも慈悲深く、憐れみ深く、神の名の下、自分自身と愛する家族のために、私はこれまでに犯した罪への赦しと、また可能なすべての方法で君の栄光をたたえることを許したまえ』と神に祈りを捧げなさい」と書かれています。また「コーランを繰り返し唱えなさい」「いつも楽観的でいなさい」とも書いています。

イスラムの教えからすれば、ビン・ラディンは神への熱心からテロ事件を起こしたといえます。しかし、イスラム教は仲介者のない宗教であるがゆえに、自分の行ないと自分の信仰とに乖離があります。端的に言えば、自分にしか正当化できない勝手な行動をするわけです。だからこそ、今後の世界平和を築いていくうえで、イエス・キリストという仲介者(仲保者)を持つキリスト教の果たすべき役割は大きいのです。

バイブルフレンズ・プログラム
―平和への思いをひとつに―

午後6時、渡部信総主事からオープニングが告げられ、讃美歌の斉唱とともに、第5回バイブルフレンズの集いがスタート。大宮溥理事長の挨拶、秋葉黎理事会書記による食前の祈りへと続き、夕食会が始まりました。参加された方々は、蜷川いづみさんのヴァイオリンと奥山初枝さんのピアノが奏でるクラシックの優雅な調べに包まれて、思い思いの会話を交えながら、晩餐を楽しんでいました。

和やかなムードの夕食会の後は、土肥隆一氏による講演が行われました。当初はこの前に、駐日アメリカ大使のハワード・H・ベイカー氏にメッセージをいただく予定でしたが、今回の集いが期せずして、ニューヨークでのテロ事件後、わずか1カ月余りの開催となったことから、同氏の出席はかなわず、事前に寄せられた手紙によるメッセージを司会者よりご紹介しました。この後、土肥氏が壇上に登場。混迷を続ける中東の情勢を冷静に見つめ、子ブルムハルトの生涯を通じて、世界平和へ向けたキリスト教の役割を熱く語られました。

講演が終わると、それまで水を打ったように静かだった会場は、一変して盛大な拍手の音に包まれました。その余韻が残る中、四竈揚理事会監事が閉会の挨拶を行い、バイブルフレンズの集いは、2時間にわたるプログラムをつつがなく終了しました。

《バイブルフレンズの集い》は、すべての方に開かれた自由参加の集いとして、今後も年1、2回のペースで開催していく予定です。お申し込み・お問い合わせは、当協会総務部広報係まで。

教会の幅広いご協力をもとめて

昨年12月7日、日本聖書協会理事・評議員の改選が行われました。今回は新たなメンバーとして評議員になられた7名の方々をご紹介いたします。

風間義信氏（かざま よしのぶ）
1960年生まれ。
東京都在住。
キリスト改革派江古田教会牧師

金 君植氏（きむ くんしく）
1934年生まれ。
東京都在住。
在日大韓基督教 東京教会牧師

妹尾正毅氏（せお まさき）
1933年生まれ。
東京都在住。
元駐ペルー大使
カトリック聖イグナチオ教会信徒

内藤淳一郎氏（ないとう じゅんいちろう）
1937年生まれ。
埼玉県在住
日本バプテスト連盟西川口教会牧師

ヘイゼル・タヒューン氏
1942年生まれ。
東京都在住。
日本基督教団東京池袋教会牧師

増山瑞比古氏（ますやま みずひこ）
1935年生まれ。
栃木県在住。
日本国際ギデオン協会前全国会長、
日本基督教団宇都宮上町教会信徒

松平康博氏（まつだいら やすひろ）
1938年生まれ。
北海道札幌市在住。
札幌ハリストス正教会司祭

新たな時代を迎えて日本聖書協会は、さまざまな課題を前に多くの皆様のご協力を必要といたしております。今後も、理事・評議員、そして事務局一丸となって働きを進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

正教会関係者から初めて評議員になられた松平康博氏に聞く

今回の改選では、正教会関係者から初めて、松平康博氏が評議員に選ばれました。そこで、同氏に評議員としての今後の抱負を伺いました。

「正教会は奉神礼儀（典礼）の中では明治時代にニコライ大主教（日本に正教会を初めて宣教した）によって翻訳されたオリジナルな聖書を使用していますので、聖書協会の活動には無知でした。しかし、信徒の皆さんが自分で読む聖書としてはすべて、日本聖書協会発行のものを用いています。特に『新共同訳聖書・旧約続編つき』は、カトリック教会と同様、大変有効に活用しています。

私自身は二十年来の日本聖書協会の後援会員ですが、今回評議員に加えていただいたことで、使命感をより強くしています。聖書協会の働きをわが正教会の信徒に積極的に紹介し、一人でも多くの方に理解してもらって、後援会員になっていただくことを第一の仕事としたいです。

また、私が住んでいます北海道においても聖書普及に少しでもお役に立てればと考えています。幸い四年前に札幌で聖書展が開催され、多くの道民の方々が見ておられますので、そこに何らかの手がかりを得たいと思います。」

「いと小さきもの」への愛
石井亮一と聖書

鈴木範久（すずき のりひさ） 立教大学教授

南武線の矢川で下車、車どおりの激しい道をしばらく行くと、まるで別天地のような一角に出会う。知的障害を持つ子供たちの施設滝乃川学園である。先ほどまでのすさまじい車の音はどこかに消えて、構内を流れる小川のせせらぎが聞こえてくる。

こじんまりしたチャペル聖三一礼拝堂のそばに、一基の自然石で出来た石碑が目にとまる。それには次の文字が刻まれている。

容幼孩就我

中国語訳聖書から採られた言葉である。この出所までは判明していたが、はたしてどの聖書に基づくものなのかは明らかでなかった。出典の調査を依頼され、気安く引き受けたものの、調査は意外に難渋した。いわゆる日本の委員会訳にあたる中国語訳聖書になかったからである。

いくつもの中国語訳聖書にあたって、ようやくたどり着いた聖書は、シェルシェウスキーにより訳され、1898（明治31）年、横浜で刊行された『新約聖書』であった。そのマタイ伝19章14節に「容幼孩就我、勿禁」とあり、まったく同じ文字が使われている。『聖書 新共同訳』では「子供たちを来させなさい。わたしのところに来るのを妨げてはならない」となっている。シェルシェウスキーの聖書では実に簡潔に訳されている。

シェルシェウスキーは、アメリカの聖公会宣教師として1862年から中国に伝道、C・M・ウイリアムスが日本の主教に任命後、かわって中国主教に就いている。ウイリアムスの親しい同僚である。

滝乃川学園の創立者石井亮一は、ウイリアムスの創めた立教学校に学び、ウイリア

シェルシェウスキー訳新約聖書

知的障害児教育に尽力した石井亮一

ムスから信仰の指導を受け、ウイリアムスの感化により社会事業に志した人物といってよい。そのウイリアムスの同僚で聖公会の宣教師シェルシェウスキーの訳した聖書を、石井自身が愛用していたとしても決して不思議ではない。

石井が立教女学院で教えていた1891年、濃尾地方を大地震が襲った。被害にあった家庭の女子が多く身売りされているとの悲惨な話を聞き、二十数人の女の孤児を引き取り、聖三一孤女学院を開設した。当初は下谷にあった知人志方之善・荻野吟子夫妻の家を借りたが、翌年には私財をなげうち滝野川に土地を購入、施設を建てて移転した。

孤女学院はやがて滝乃川学園と改称。孤児のなかに知的障害の児童がいたことから、石井は知的障害児教育を志し、同学園を日本最初の知的障害児教育施設とした。石井が1904年に刊行した『白癡児 其研究及教育』は、その分野の日本最初の研究書といわれる。石井は同書を結ぶにあたり、先駆者セガンが教育の心得としてあげたパウロの言葉を引いている。それはコリント前書13章1、2節の聖句であり、学術、信仰はいかにすぐれていても、愛がなければ取るに足りないとの言葉である。

石井の右の著書をはじめとする研究書類は、一貫して統計を駆使した科学的な書物からなっている。しかし、その背後には常に「いと小さきもの」への愛の精神が、あたかも凍土で覆われた地球の内部に灼熱の溶岩があるように存在していた。

1901年のクリスマスの頃、石井が園内で行った話には、次の聖句が強調されている。

> 汝等わが此の兄弟のいと小さきものの一人に行へるは乃ち我に行ひしなり
>
> （マタイ伝25章40節）
>
> （『石井亮一全集』4／大空社）

石井の遺品のなかには、「冀望」と題しみずから記した特愛の聖句が見出される。

> 冀望
>
> 愛乃寛忍慈　愛不嫉妬愛不
> 矜誇不驕傲不　妄為不図己利
> 不遽怒不念慮　不喜非義乃喜真
> 理凡事包容凡時　存信凡事冀望

これまた前述のシェルシェウスキーの訳した中国語訳聖書のコリント前書13章4～7節の言葉である。やはり『聖書 新共同訳』から日本語訳文を掲げる。

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、（すべてに耐える）

た聖書製作をめざします!

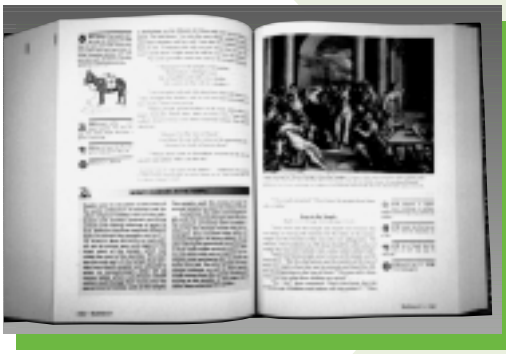
21世紀に期待される聖書はどういうものだろうか？　日本聖書協会はそうした思いを絶えず抱きながら、時代に合った聖書の製作・頒布をめざしています。ＩＴという計り知れない可能性を持ったコミュニケーション手段の発展の時代にあって、素朴であっても忘れられてはならないのが、聖書の読みやすさ、味わい深さ、そしてあらゆる人々への視点の追求。今回はこれらのニーズを考慮に入れた近刊のご案内をしていきます。

（編集部）

読みやすさの追求

スタディーバイブル

「聖書を単に読むだけでなく、その語句説明、時代背景などが同時に理解できたら、さらに読みやすくなるのでは？」という読者の声にお応えして、現在、『スタディバイブル』（学習用聖書）の開発を進めています。本文に、注・説明と略引照を並べ、ガイドや地図など役に立つ付録を付けた学びのための聖書で、本文は新共同訳です。また、注・説明は「CEV （Contemporary English Version）ラーニングバイブル」より翻訳しています。まず四福音書をパイロット版として発行した後、旧新約聖書を発行する予定です。



（写真：CEVラーニングバイブル）

あらゆる人々への視点の追求

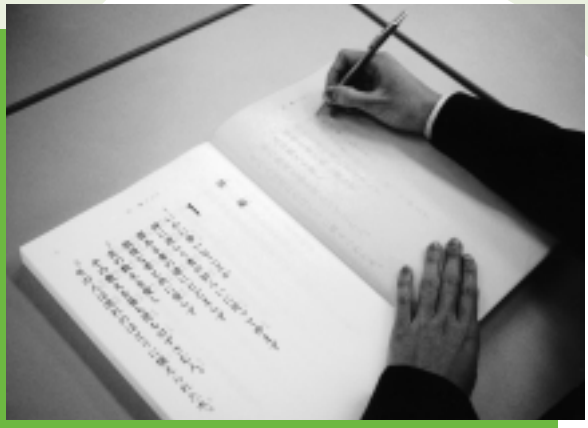
ビデオ版手話訳聖書

多くの先天的ろう者にとっては文字の読解自体が難しいというのが現実。そこで今、手話による聖書の普及は緊急の課題となっています。この課題に応えようと現在開発中なのが『ビデオ版手話訳聖書』です。日本ろう福音協会が進めている「ろう者によるろう者のための」手話訳聖書製作プロジェクトに、日本聖書協会が協力することで1日も早い完成が望まれています。しかしながら、製作費用が莫大にかかり、ご献金によって支えられなければとても進められないのが現状です。多くの皆様のご協力をお願いいたします。

新時代のニーズに合わせ

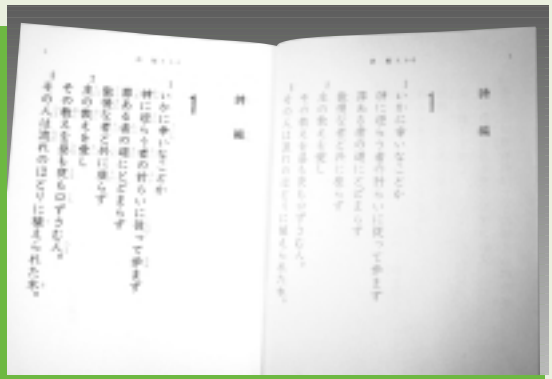
味わい深さの追求

写教聖書
（しゃきょうせいしょ）



味わい深さの追求の中で、今年最も話題を呼びそうなのが『写教聖書』（新共同訳）。これは「見る」「読む」「聴く」という通常のみ言葉への接し方に加えて、さらに「書く」という視点を取り入れた聖書製作史上、極めて珍しい聖書です。左側のページのみ言葉を、右側のページ（同じ本文を薄グレーで印刷）に書き写していくといった形で、聖書をじっくり味わうことができます。大きさも書きやすさを考えて、1ページはB4 変形サイズ。1冊800ページほどで全22冊。こちらは1冊当たり2,500円～4,000円（税別）で、ティー・ユー企画から発売されます。2002年6月から10月にかけて全分冊が発売されますが、第1回の配本である『詩編　（前編）』は全国の教会・学校等へ無料で進呈の予定です。

お申し込み・お問い合わせはティー・ユー企画まで。
（TEL.03-5405-2677）



文字が大きく、紙も厚みがあって書きやすい

『口語訳聖書』本文読み替えのお知らせ

1996年4月の「らい予防法」廃止に伴い、聖書の該当個所の訳語変更要請が、いくつかの教会および教区の総会などで決議されております。日本聖書協会はそれらを受けて協議、検討の結果、『口語訳聖書』本文中の「らい病」表記を、すべて訳語変更することに決定いたしました。変更した訳語は、文脈を考慮して「重い皮膚病」「皮膚病」「かび」その他に訳し分けております。

該当個所を変更して印刷しましたものは、2002年5月以降製作し、6月以降順次発売の見込みです。変更個所の一覧は、日本聖書協会ホームページ（http://www.bible.or.jp）で公開いたします。

2002年　聖書普及講演会のお知らせ

2002年の聖書普及講演会を米子、青森、名古屋で開催いたします。この会は日本における聖書普及の働きを一人でも多くの方に知ってもらい、ご理解・ご協力を仰ぎたいという思いから企画されています。キリスト教の各界から講師をお招きして、聖書に関するトピックについてご講演いただき、その後、国内・海外における聖書普及活動の最新情報を当協会よりご報告し、質疑応答をするという形式で行っています。ご参加くださった皆様は、講師の講演に熱心に耳を傾けられ、また質疑応答においては活発なご意見・ご要望が出され、多くの方々から好評の声をいただいています。参加無料です。皆様お誘い合せのうえ、奮ってご参加ください。
お申し込み・お問い合わせは日本聖書協会総務部広報係まで。

今年開催された東京、大阪のようす

2002年6月〜10月の開催スケジュール

6月3日 米子

講演：「信仰・希望・愛－いま聖書に響くパウロの心」
講師：橋本昭夫氏（神戸ルーテル神学校校長）
日時：2002年6月3日（月）（13:30〜16:00）
場所：米子コンベンションセンター3F第2会議室（鳥取県米子市末広町74番地）

7月2日 青森

講演：「ただの人として生きる－アンデルセン『裸の王さま』に学ぶ」
講師：宮田光雄氏（東北大学名誉教授）
日時：2002年7月2日（火）（13:30〜16:00）
場所：青森市文化会館4階小会議室（青森県青森市堤町1丁目）

10月11日 名古屋

日時：2002年10月11日（金）（13:30〜16:00）
講演内容・講師・場所は未定

Bible Promotion Meetings 2002

編集後記

インターネット技術は私たちの日常生活に目覚ましく浸透しつつあります。この状況に聖書普及活動はどう対応すべきか？　これは待ったなしの緊急課題です。特集のインタビューにもありましたが、ITのゆくえについてはその将来が未知数なまま、進歩のスピードが極めて速いために「走りながらの検証」しか私たちに許されていないのが現状です。

そんな状況の中、今回ITに関わる聖書普及事情の現状報告ともいうべき特集を組んでみました。『JNet-ぱいぷる』、ホームページなどは今、最も注目されている手段です。これらは今後の聖書普及の流れを大きく変えていくことでしょう。

しかし、一方において世界平和を脅かす深刻な情勢に見られるように、私たちを取り巻く精神状況は混沌としています。今、キリスト教にかかる期待は大きいのではないか？

「見よ、わたしは万物を新しくする。」この主のみ言葉は技術の将来以上に、私たちの心のゆくえを告げているはずです。まさに聖書が神の約束として迫ってきます。　（M）

◆SOWERは日本聖書協会後援会の会員誌です。本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。お葉書、Eメールなどでお受けいたします。

Eメール・アドレス／info @bible.or.jp

●ソア　第20号MAY 2002
発行＝財団法人　日本聖書協会
〒104-0061
東京都中央区銀座四丁目5-1聖書館ビル
電話　03-3567-1988
FAX03-3567-4451
ホームページ http://www.bible.or.jp
振替　00160-2-18410
表紙イラストレーション＝月本佳代美
デザイン＝株式会社デザインコンビビア
印刷＝文唱堂印刷株式会社

聖書図書館蔵書シリーズ――⑱

グーテンベルク四十二行聖書(復刻版)

マインツ
初版：1456年ごろ
縦：46cm　横：33cm

1400年ごろ、ドイツのマインツで生まれたヨハン・グーテンベルクは、シュトラースブルクで石の研磨と鏡作りに従事した後、1446年ごろ、故郷に帰り印刷機の改良を始め、1455年には鉛と錫の合金による金属活字を作った。そして、それによくなじむ油性のインキを用い、ぶどう搾りのプレス機をヒントに、ねじ式圧縮機の印刷機を考案した。1456年ごろの、この印刷機による世界最初の活版印刷が、2段42行組みの『四十二行聖書』で、本文は当時のラテン語ウルガタ訳である。
ほとんどのページは漆黒のインクだけで印刷されているが、顧客の好みに従って、装飾が手書きで追加された。
グーテンベルクの印刷術の発明は、人類の精神文化に計り知れない貢献をした。これが聖書に及ぼした影響も大きい。それまで手書きの写本でしかできなかった聖書を大量に作成することを可能にした。

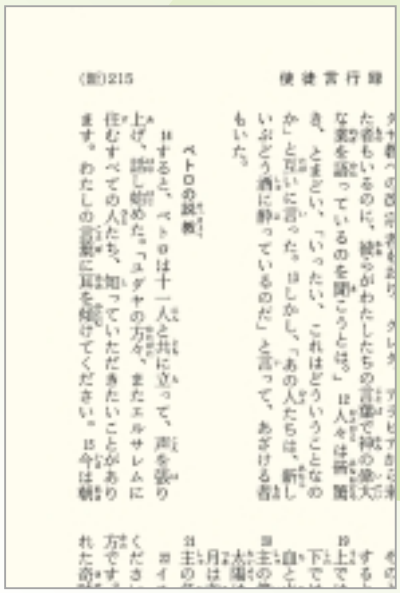
グーテンベルク印刷機（複製）

2002年5月中旬　新刊予定！

新共同訳 ミニ判新約聖書 詩編つき

文庫本よりも小さな新約聖書（詩編つき）

ご旅行や通勤・通学時にいつもカバンの中に入れておいてください。



▲ 内容見本　原寸大

書名
新共同訳
ミニ判新約聖書詩編つき

カタログ番号
NI334、NI336（革装）

サイズ
B7判（約 9×13cm）

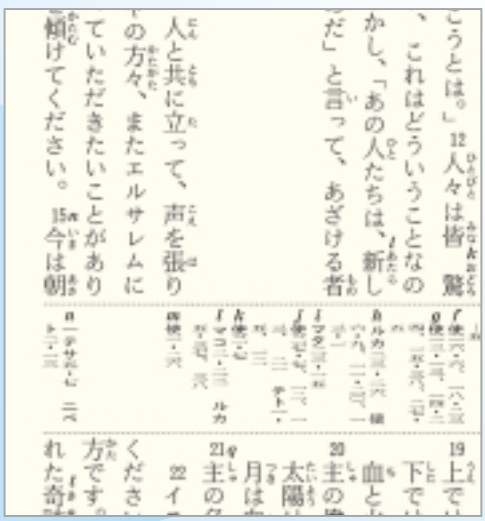
本体価格
1,000 円（ビニルクロス装）
3,500 円（革装・三方金付・ケース入り）

新共同訳 大型引照つき聖書

「大きな文字の引照つき聖書が欲しい」

というお客様からの声におこたえして
新共同訳　大型引照つき聖書を再刊いたします。

書名	装幀	書名	装幀
大型引照つき聖書	クロス装厚表紙 ケース入り	大型引照つき聖書 旧約聖書続編つき	クロス装厚表紙 ケース入り
カタログ番号	**本体価格**	**カタログ番号**	**本体価格**
NIO53	6,500円	NIO53DC	7,600円
サイズ		**サイズ**	
A5判（約15×21cm）		A5判（約15×21cm）	



▲ 内容見本　原寸大

●お求めは全国の書店で、お問い合わせは右記へ
●ホームページからもご注文できます。
（別途荷造り送料がかかります）

財団法人 日本聖書協会 JAPAN BIBLE SOCIETY
〒104-0061 東京都中央区銀座 4-5-1 聖書館ビル　TEL 03-3567-1987
ホームページ http://www.bible.or.jp　FAX 03-3567-4451

SOWER ソア No.20
2002年5月1日発行
［5月・12月の年2回発行］
発行・財団法人 日本聖書協会
〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目 5-1 聖書館ビル
電話 03-3567-1988　振替 00160-2-18410
ホームページ
http://www.bible.or.jp
この雑誌は
エコマーク認定の
再生紙を
使用しています